

## 第5章 廃棄物の資源化、減量

### 1 ごみの資源化

ごみの資源化はリサイクルという言葉で表現されるが、ごみを減らすといった課題においては、不可欠なものである。

本市においても、ごみとして出されるものを、地域の子供会や学校等のPTA、自治会などが新聞や段ボール等の古紙、びん、布、廃食用油を資源ごみとして回収し、その回収量に応じ報奨金を交付しているほか、フリーマーケットの開催等により、市民自らが率先して生活の工夫をし、ごみの減量を推進している。

清掃センターに収集運搬及び自己搬入されたごみについても、不燃ごみは粗大ごみ処理施設の機械により鉄、アルミ、カレット等に分別し、乾電池や蛍光灯は分別収集により、携帯電話等小型家電は拠点回収及びピックアップ回収により、粗大ごみとして搬入された小型家電も資源化を図っている。可燃ごみについても新聞・雑誌・段ボール・牛乳等紙パック・ミックス古紙といった資源古紙のほか、ペットボトルや白色トレイ・白色発泡スチロールについても分別収集を行い、木質家具や剪定枝はチップ化し、廃食油、衣類等、靴・革製品等は拠点回収を行い、粗大ごみとして搬入された羽毛ふとんや毛布等も資源化を図っている。

また、ごみの減量、市民のリユース意識の醸成を目的に、令和5年9月6日から清掃センターに搬入された粗大ごみ等を「メルカリ Shops」を活用し、市民等への販売を開始した。

#### (1) 年度別資源化率の推移

	ごみ処理量	資源化量	資源化率	集団回収量	リサイクル率
平成 26 年度	38,995 t	3,875 t	9.9%	2,310 t	15.0%
平成 27 年度	38,675 t	3,977 t	10.3%	2,126 t	15.0%
平成 28 年度	36,075 t	3,164 t	8.8%	2,058 t	13.7%
平成 29 年度	35,000 t	3,167 t	9.1%	1,989 t	13.9%
平成 30 年度	34,176 t	3,092 t	9.1%	1,933 t	13.9%
令和元年度	33,559 t	3,219 t	9.6%	1,780 t	14.1%
令和 2 年度	32,205 t	3,220 t	10.0%	1,455 t	13.9%
令和 3 年度	31,242 t	3,231 t	10.3%	1,336 t	14.0%
令和 4 年度	30,745 t	3,154 t	10.3%	1,295 t	13.9%
令和 5 年度	29,336 t	3,028 t	10.3%	1,103 t	13.6%

※集団回収量にリネットジャパンリサイクル(株)の小型家電回収量を含む

## (2) 年度別清掃セントラル資源ごみ等回収量

(単位:t)									
年度	アルミ	鉄	古紙類	衣類等	布団・毛布等	カレッタ・びん	乾電池	蛍光灯	ペットボトル
平成20年度	124.42	976.54	2,756.17		847.43	27.30	16.65	177.37	16.77
平成21年度	134.51	990.63	2,476.18		802.00	27.62	13.20	168.40	16.13
平成22年度	129.23	884.59	2,194.49		782.40	28.52	13.55	166.07	16.80
平成23年度	126.31	869.20	2,071.71		784.68	33.40	17.40	143.97	15.99
平成24年度	122.83	780.74	1,933.11	12.66	760.29	28.67	17.36	141.17	15.10
平成25年度	118.55	725.92	1,563.53	128.74	756.00	31.23	11.50	132.36	13.85
平成26年度	111.99	755.37	1,426.58	103.89	2.41	744.94	28.47	10.31	116.74
平成27年度	109.71	927.20	1,284.55	107.58	5.05	699.42	24.39	9.94	101.32
平成28年度	109.13	470.87	1,157.78	150.39	1.06	698.22	28.24	5.45	103.78
平成29年度	102.24	453.57	1,063.42	226.48	0.87	692.81	24.11	8.82	94.24
平成30年度	112.22	441.75	945.31	280.97	3.09	626.43	28.29	8.93	98.63
令和元年度	119.88	452.04	951.17	332.75	4.00	624.96	27.78	5.73	97.28
令和2年度	137.94	556.44	996.15	148.15	4.67	631.71	27.50	10.21	95.80
令和3年度	125.96	447.98	930.28	377.76	5.63	619.59	31.47	4.79	104.84
令和4年度	138.54	440.80	903.24	339.99	36.61	592.49	26.54	6.67	98.52
令和5年度	125.77	419.05	831.72	409.58	15.49	549.66	26.65	6.43	97.33

(3) 年度別資源ごみ等回収実績一覧表

年 度	団体数	回 収 量 (kg)	廃食用油(ℓ)	報奨金 (円)
平成 26 年度	164	2,311,089 (うち廃食用油 3,629)	4,031.9 (2,295.4)	7,464,360
平成 27 年度	164	2,125,549 (うち廃食用油 5,459)	6,065.3 (2,367.3)	7,098,570
平成 28 年度	168	2,057,988 (うち廃食用油 5,488)	6,097.7 (2,271.7)	7,419,100
平成 29 年度	171	1,989,032 (うち廃食用油 3,482)	3,869.0 (1,987.6)	7,767,530
平成 30 年度	171	1,932,838 (うち廃食用油 3,368)	3,743.0 (1,884.0)	8,389,840
令和 元年度	173	1,779,539 (うち廃食用油 2,889)	3,210.0 (743.1)	6,333,890
令和 2 年度	158	1,454,771 (うち廃食用油 2,851)	3,168.0 (386.9)	5,157,440
令和 3 年度	152	1,332,877 (うち廃食用油 2,927)	3,252.0 (601.4)	4,673,700
令和 4 年度	145	1,293,099 (うち廃食用油 2,599)	2,888.0 (674.9)	4,552,850
令和 5 年度	133	1,103,480 (うち廃食用油 2,840)	3,155.0 (542.2)	4,223,250

※「廃食用油の回収量 (kg)」は換算係数 0.9 を乗じて算出

(平成 18 年 12 月 27 日公布環廃産 061227006 号による)

※「廃食用油の ( )」は報奨金交付申請対象

報奨金交付基準改正経過

H9 年～H16 年 3 月 kg 当たり 5 円 50 銭 H16 年 4 月～H22 年 7 月 kg 当たり 5 円

H22 年 8 月～H24 年 3 月 kg 当たり 4 円 (廃食用油は H22 年 8 月～ リットル当たり 30 円)

H24 年 4 月～H26 年 3 月 kg 当たり 3 円 (ミックス古紙は kg 当たり 10 円)

(廃食用油はリットル当たり 30 円)

H26 年 4 月～H31 年 3 月 kg 当たり 2.5 円 (ミックス古紙は kg 当たり 20 円)

(廃食用油はリットル当たり 40 円)

H31 年 4 月～ kg 当たり 2.5 円 (ミックス古紙は kg 当たり 10 円)

(廃食用油はリットル当たり 40 円)

(4) 令和 5 年度資源ごみ回収団体別報奨金 (出典 : 環境政策課)

回収団体	団体数	回収量 (t) ミックス古紙 廃食用油以外	ミックス 古紙 (t)	廃食用油 (ℓ)	報 奨 金 (円)
子 供 会	41	340.181	47.685	29.0	1,409,650
P T A	25	100.163	16.029	0.0	443,820
自 治 会	25	231.947	60.710	0.0	1,220,120
老 人 会	3	28.555	2.140	0.0	96,810
婦 人 会	3	14.308	4.850	197.0	92,180
そ の 他	36	216.650	37.422	316.2	960,670
合 計	133	931.804	168.836	542.2	4,223,250

(5) 「メルカリ Shops」での販売実績

	件 数	重 量	販売価格
9月	44 件	518kg	62,500 円
10月	61 件	631kg	57,500 円
11月	61 件	612kg	69,000 円
12月	64 件	743kg	92,500 円
1月	91 件	943kg	130,000 円
2月	99 件	905kg	119,500 円
3月	74 件	632kg	96,000 円
計	494 件	4,984kg	627,000 円

## 2 ごみの減量

ごみ処理施設の老朽化や最終処分場の確保が困難な現在、いかにそれらの延命化を図るかが最大の課題であり、ごみの減量と密接な関係にある。

本市のごみ減量対策として、生ごみのコンポスト処理、堆肥化・減量化、資源ごみの集団回収への協力、簡易包装の推進等により、自己処理、自主資源化、再利用の推進を図っている。「生ごみ処理容器無償貸与要領」に基づき、平成3年度よりコンポスト、平成7年度よりばかし容器の無償貸出しを実施しており、平成4年度から清掃センター、市役所本庁舎及び公民館を利用して、生ごみ処理容器の無償貸与の申し込み受付を実施するとともに、出前講座や説明会を開催した際には、生ごみ処理容器の無償貸与に係る周知をしている。

なお、平成11年9月から実施していた生ごみ処理機購入費補助事業は、平成27年度をもって終了した。平成26年7月から実施していたダンボールコンポスト販売事業は令和2年度をもって終了し、令和3年度からは、モニターへの無償配布のみとした。

(2) 生ごみ処理容器の無償貸出等実績

	コンポスト	ばかし	生ごみ処理機 購入費補助	ダンボール コンポスト
平成3年度	550			
平成4年度	516			
平成5年度	1,026			
平成6年度	1,198			
平成7年度	439	552		
平成8年度	315	328		
平成9年度	324	280		
平成10年度	313	246		
平成11年度	87	91	345	
平成12年度	73	40	295	
平成13年度	57	42	123	
平成14年度	47	30	84	
平成15年度	37	12	51	
平成16年度	21	20	79	
平成17年度	19	21	81	
平成18年度	22	14	58	
平成19年度	37	14	34	
平成20年度	51	18	40	
平成21年度	31	15	26	
平成22年度	29	17	25	
平成23年度	34	27	17	
平成24年度	32	29	20	
平成25年度	47	24	25	
平成26年度	33	34	17	214
平成27年度	28	11	16	97
平成28年度	31	22		40
平成29年度	21	10		19
平成30年度	30	18		115
令和元年度	53	55		19
令和2年度	64	61		1
令和3年度	62	60		2
令和4年度	37	28		1
令和5年度	40	46		

### 3 広報、啓発活動（令和5年度実績）

#### （1）ごみ減量トレンドイの発行（広報みしまと同時配布 4ページ）

発行日	主な内容
R5. 6. 15	ごみ排出量の報告、生ごみの減らし方（コンポスト編）、ごみFAQ
R5. 9. 15	未来のための選択一リユースが持つ力ー、「メルカリ Shoops」、もったいない食器市＆子供服市、生ごみの減らし方（食品ロス編）
R6. 3. 15	ミックス古紙の分別、カラス被害からごみ集積所を護る、リチウムイオン電池による火災発生

#### （2）出前講座の開催

日付	対象・場所	講座内容
R5. 4. 4	日本大学国際関係学部 ※新入生ガイダンス	ごみ出しのルール
R5. 5. 11	光が丘保育園	
R5. 5. 17	加茂川町保育園	
R5. 6. 6	東幼稚園	
R5. 6. 13	錦田幼稚園	ごみのゆくえ・リサイクルゲーム
R5. 6. 15	旭ヶ丘幼稚園	
R5. 6. 22	松本幼稚園	
R5. 6. 30	沢地幼稚園	
R5. 7. 11	伊豆佐野保育園	
R5. 7. 27	長伏放課後児童クラブ	
R5. 7. 27	沢地放課後児童クラブ	
R5. 7. 28	徳倉放課後児童クラブ	
R5. 8. 1	北放課後児童クラブ	
R5. 8. 2	向山放課後児童クラブ	ごみのゆくえ・ごみ分別ゲーム
R5. 8. 3	北上放課後児童クラブ	
R5. 8. 8	中郷放課後児童クラブ	
R5. 8. 9	北放課後児童クラブ	
R5. 8. 24	佐野放課後児童クラブ	
R5. 9. 20	緑町佐野保育園	
R5. 10. 27	錦田保育園	ごみのゆくえ・リサイクルゲーム
R5. 11. 8	南幼稚園	
R5. 11. 9	北上地区シニアクラブ	ミックス古紙分別啓発ほか
R5. 11. 13	日本大学国際関係学部	食品ロス削減啓発
R5. 11. 22	中郷地区シニアクラブ	ミックス古紙分別啓発ほか
R5. 12. 5	東部地区シニアクラブ	
R5. 12. 14	梅名自治会	三島市のごみ処理の現状と課題
R6. 1. 16	錦田地区シニアクラブ	ミックス古紙分別啓発ほか
R6. 1. 23	西部地区シニアクラブ	
R6. 2. 6	三島自然を守る会	三島市のごみ処理の現状と課題
R6. 3. 22	坂生涯学級	